

PEM005-P02

会場:コンベンションホール

時間:5月26日 10:30-13:00

マグネトポーズの位置を使ったリアルタイム磁気圏シミュレーションの解析 Analysis of real-time magnetosphere simulation data using location of magnetopause

巨 慎一^{1*}, 坪内 健¹, 森川 靖大¹, 加藤久雄¹, 田中 高史¹, 品川 裕之¹, 村田 健史¹

Shinichi Watari^{1*}, Ken Tsubouchi¹, Yasuhiro MORIKAWA¹, Hisao Kato¹, Takashi Tanaka¹, Hiroyuki Shinagawa¹, Ken T. Murata¹

¹ 情報通信研究機構

¹NICT

保存されているリアルタイム磁気圏シミュレーションデータを使うことにより、様々な太陽風の状態に対する磁気圏の応答を調べることができる。このデータを使って、AE 指数に関する観測値と計算値の比較（北村ほか、JGR、2008）や静止軌道の地磁気変動（巨ほか、2010 SGEPS 講演会）など、これまでいくつかの研究が行われてきた。

本研究ではリアルタイム磁気圏シミュレーションから得られるマグネトポーズの位置について解析を行った。マグネトポーズの位置に関して、動圧と太陽風の南向き IMF を考慮した Shue モデル（1997）と呼ばれる経験モデルがある。今回は、この Shue モデルを使って、リアルタイム磁気圏シミュレーションによって得られたマグネトポーズの位置の解析を行った。その結果、両者がよい一致を示すことがわかった。

キーワード: マグネトポーズ, 磁気圏, シミュレーション

Keywords: magnetopause, magnetosphere, simulation